

福島県土木部数量総括表作成要領

(制定平成 25 年 3 月 27 日技術管理課長通知、平成 27 年 10 月 1 日最終改正)

1 背景と目的

土木設計については、各種設計検討資料・図面・設計数量等を業務成果として求めているところであるが、設計数量のまとめ方については受託者・設計者によるバラツキが大きく、監督員による設計数量精査作業や工事発注作業に支障をきたしている。

また、工種・工法を採用するにあたり、施工現場での適合性の確認が不十分であるため施工時に支障をきたしている事案や、市場流通性の無い資材を用いるなど寸法・規格の確認が不十分であるため、資材確保に支障をきたしている事案が発生している。

このため、円滑な事業執行に資するため、数量総括表の作成要領を定め、表示の統一や使用資機材の確認の徹底を図ることとした。

2 対象業務

福島県が実施する全ての土木設計業務に適用する。

3 作成要領

- (1) 受注者は、福島県土木設計マニュアル（設計積算編）に基づき、数量計算書においては、「工事工種体系」を考慮した区分で数量を算出すること。

4-6 数量計算（標準）

数量計算においては、「工事工種体系」を考慮した区分で数量を算出する。

ただし、工事工種体系が策定されていない工種等については、他の体系に準じて「工種（レベル 2）」、「種別（レベル 3）」、「細別（レベル 4）」を設定すること。

注 「レベル〇」は、工事工種体系における階層を示すものであり、詳細は「5-4 各種工事の積算」を参照。

福島県土木設計マニュアル(設計積算編)抜粋

- (2) 数量総括様式は、福島県土木部技術管理課が定める「数量総括表」とする。
なお、積算基準等の適用日により数量総括表が異なるため、適用する数量総括表について、監督員と協議する。
- (3) 数量総括表に記載する工種項目は、工種体系に沿って記載すること。なお、工種体系における階層（レベル）の定義は「別表 1 工種体系」のとおりとする。
- (4) 各行 2 段書きの内、当初設計成果は上段に記載すること。
- (5) 設計にあたって採用した施工機械の規格や、使用材料の規格等は、設計を構成する重要な要素であることから、規格等記入欄に必ず明記すること。
- (6) 土木工事標準積算基準に無い工種・工法を用いる必要がある場合には、当該工種・工法に係る歩掛・使用機械等の資料を収集し、施工可能であることを確認の上、該当規格等を記入すること。また、当該関係資料について提出すること。
- (7) 土木事業単価表並びに建築関係事業単価表に掲載されていない資材単価を用いる必要がある場合には、物価資料（建設物価、積算資料等）や見積書を収集し、資材が流通品として調達可能であることを確認すること。また、当該資料について提出すること。

- (8) 図面や土量配分表等数量計算書からだけでは数量を読み取れない項目については、設計数量の算出根拠欄に計算根拠を明記すること。
- (9) その他、「数量総括表作成上の注意点」を参照のこと。
- (10) 設計委託における数量総括表の作成は前項までとし、積算システムの条件値設定については、電算業務委託によることとする。

4 適用年月日

平成25年4月1日以降に起工する土木設計業務に適用する。

附 則

この要領は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成27年1月23日から施行する。

附 則

この要領は、平成27年10月1日から施行する。

別表1 工種体系における階層（レベル）の定義

レベル	名称	内容	備考(例)
レベル0	事業区分	予算制度上および事業執行上の区分を中心とした区分	河川改修
			道路新設・改築
レベル1	工事区分	工事発注ロットおよび発注者を考慮してレベル0を分割したもの	築堤・護岸
			道路改良
レベル2	工種	レベル1を構成する要素のうちで、一定の構造を持つ部位を施工するための一連作業の総称	法覆護岸工
			根固め工
			道路土工
			法面工 擁壁工
レベル3	種別	体系全体の見通しをよくするため、レベル2とレベル4をつなぐレベル区分	コンクリートブロック工
			根固めブロック工
			掘削工
			路体盛土工 法面吹付工
レベル4	細別	工事を構成する基本的な単位目的物であり、単位とともに <u>設計数量を表示するレベル</u>	コンクリートブロック積み
			根固めブロック据付
			掘削（土砂）
			路体盛土工 筋芝
レベル5	/	レベル4を構成する施工歩掛であり、単位とともに <u>単位数量を表示するレベル</u>	コンクリート人力打設
			消波根固めブロック施工
			バックホウ掘削積込
			振動ローラ締固め 法面工(人力による植生工)

数量総括表作成上の注意点 (1/4)

左端列にコードを入力することで自動的に表示される欄

手入力欄

数量総括表						規格等	単位	設計数量	算出根拠
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
X1000	本工事費								
a1017	道路改良								
a1193	道路土工								
a1395			掘削工						
a3015			掘削(土砂)			流用土	m3	1,329.5	土量配分表より
s1060					バックホウ掘削積込	クロー型 0.8m3(0.6m3)	m3	1.0	
a3015			掘削(土砂)			流用土	m3	706.6	土量配分表より
s1050					片切掘削(人力併用機械掘削)		m3	1.0	
a3038			掘削(軟岩)			流用土	m3	495.8	土量配分表より
S1100					リッパ掘削押土(標準作業)	リッパ*装置付32t級	m3	1.0	
a3038			掘削(軟岩)				m3	82.8	土量配分表より
s1100					リッパ掘削押土(標準作業)	リッパ*装置付32t級	m3	1.0	
a3038			掘削(軟岩)				m3	104.3	土量配分表より
s1100					リッパ掘削押土(標準作業)	リッパ*装置付32t級	m3	1.0	
a3015			掘削(土砂)			不良土掘削	m3	116.8	土量配分表より

監督員から特別な指示が無い限りは、当初設計として全て上段に記載すること。

※データシートについては、「数量総括表作成上の注意点 (4/4)」を参照のこと。

【入力補助機能】

データシートの入力用コード(半角文字)をコード入力欄に入力することで、工種レベルに応じた欄(0~5)に名称が自動で表示されます。

なお、使用したい資材等の名称が無い場合は、該当欄に直接名称等を入力すること。

設計にあたって採用した施工機械の規格や、使用材料の規格等は、設計を構成する重要な要素であることから、必ず明記すること。

設計数量は、土木設計マニュアル〔設計積算編〕の「4-5 設計図書的设计数量の単位及び数値」によることとし、仮設工や撤去工に至るまで、項目の記載漏れの無いよう入力すること。

数量総括表作成上の注意点 (2/4)

コンクリート・アスファルトの仕様、碎石の規格、資材寸法、無筋・有筋の別等、使用する資材の規格を明示すること。

市場流通性が有り調達可能な資材規格であることを確認し、その資料を添付すること。(物価資料・メーカー等の見積書など)

入力補助機能 コード入力欄		レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	規格等	単位	設計数量	
a1202				コ-ブロック(溝)E							
a1635				コンクリートブロックE							
a3601				コンクリートブロック積み					式	1.0	
				大型積みブロック			NETISブロック		m2	150.0	1500×1000タイプ、見積確認済み(確認結果は別添)
s1910				コンクリートポンプ車投入打設			鉄筋構造物 21-8-25BB		m3	23.38	大型積ブロック構造図より
s1951				型枠			鉄筋・無筋構造物		m2	68.5	大型積ブロック構造図より
S1651				目地板設置			目地材 厚10mm		m2	5.4	大型積ブロック構造図より
s7000				鉄筋工(太径鉄筋含む) - 材料費含む -			SD295A D13(防護柵補強鉄筋)		t	0.072	大型積ブロック構造図より W= 71.76 kg = 0.072 t
a1208				排水構造物工							
a1784				側溝工							
a5067				プレキャストU型側溝					m	106.0	排水構造物工数量集計表より
							150×150×600 内訳			1.0	
S7140				排水構造物工(U型側溝)(材別)			L=600 1000kg/個以下		m	10.0	(10m当り)
				U型側溝150			24kg/m		個	16.7	(10m当り) 建設物価掲載あり(確認結果は別添)
T8454				再生骨材(骨材)クラッシュラン			RC-40		m3	0.6	(10m当り) 5.00m ² ×0.10m×1.20(厚)=0.60m ³

入力補助機能を用いず手入力する場合は、「コード入力欄」のセルには文字を入力しないこと。

手入力する場合には、該当欄に直接文字を入力すること。

数量総括表作成上の注意点 (3/4)

※委託業務名を入力。
工種体系名はプルダウンリストの中から選択。

委託業務名: 測量設計業務委託(道整・地特)
 工種体系名: 道路維持・修繕

工種
 ベル1: レベル2
 砂防・地すべり対策
 道路新設・改築
 共同溝・電線共同溝
 道路維持・修繕
 公園緑地整備・改修
 下水道施設整備
 仮設土
 撤去工

工種体系名
 プルダウンから選択

客改良

路河川名・施工箇所名
を入力。

数量の出典となる図面や土
量計算書等数量計算書の名
称を記載すること。

数量総括表										
委託業務名: 測量設計業務委託(道整・地特)					路河川名: 国道○○○号					
工種体系名: 道路維持・修繕					施工箇所: 福島県福島市○○○町地内					
入力補助機能 コード入力欄	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	細目 レベル5	規格等	単位	設計数量	算出根拠
a5068						プレキャストU型側溝	再設置 (在材使用)	m	116.0	排水構造物工数量集計表より
							Ⅲ-A-i-300A 内訳			
S7140						排水構造物工 (U型側溝) (材別)	L=2000 1000kg/個以下	m	10.0	(10m当り)
T8454						再生骨材 (骨材) クラッシュラン	RC-40	m ³	0.7	(10m当り) 5.60m ² ×0.10m×1.20(取)=0.67m ³
a5068						プレキャストU型側溝		m	165.0	平面図 L=82.0m+33.5m+49.5m
							Ⅲ-A-i-400A 内訳			
S7140						排水構造物工 (U型側溝) (材別)	L=2000 1000kg/個以下	m	10.0	(10m当り)
T2010						U型側溝 JIS3種落蓋型ⅢA1400A	a400×c400×L2000 516kg/本	本	5.0	(10m当り)
T8454						再生骨材 (骨材) クラッシュラン	RC-40	m ³	0.8	(10m当り) 6.30m ² ×0.10m×1.20(取)=0.75m ³
A5068						プレキャストU型側溝		m	59.5	平面図 L=10.5m+33.0m+3.0m+13.0m
							Ⅲ-A-i-400B 内訳			
S7140						排水構造物工 (U型側溝) (材別)	L=2000 1000kg/個以下	m	10.0	(10m当り)
T2011						U型側溝 JIS3種落蓋型ⅢA1400B	a400×c400×L2000 634kg/本	本	5.0	(10m当り)
T8454						再生骨材 (骨材) クラッシュラン	RC-40	m ³	0.8	(10m当り) 6.40m ² ×0.10m×1.20(取)=0.76m ³
A2820						管渠工				

図面において10m単位や100m単位で数量を算出している工種については、内訳と明示の上、必要項目を入力すること。

図面や土量配分表等数量計算書から数量を読み取れない項目については、設計数量の算出根拠を必ず明記すること。

数量総括表作成上の注意点 (4/4)

データシートには福島県土木工事工種体系一覧表を掲載しており、この工種体系に基づき数量総括表を入力すること。
 なお、ここに記載のない工種については、数量総括表に直接手入力すること。

入力用コード	大区分	中区分	小区分	工種名称	規格	工種単	バ	システムコード
X1000	00共通			本工事費				0X1000
X2000	00共通			付帯工事				0X2000
X3000	00共通			補償工事				0X3000
A1001	01河川改修	01築堤・護岸		築堤・護岸				1Y1000000001
A1051	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	河川土工				2Y2100000002
A1382	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	掘削工				3Y3200000003
A3002	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	掘削(土砂)		m3		4Y4400000004
S1000	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	人力切崩し・人力積込		m3		5S1000
S1005	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	人力掘削(床掘り)		m3		5S1005
S1050	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	片切掘削(人力併用機械掘削)		m3		5S1050
S1055	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	ブルドーザ掘削押土		m3		5S1055
S1060	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	バックホウ掘削積込		m3		5S1060
S1063	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	超ロングアームバックホウ掘削積込		m3		5S1063
S1070	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	クラムシェル水中掘削積込		m3		5S1070
S1160	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	残土受入地での処理		m3		5S1160
S1187	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	人力積込ダンプトラック運搬(2t積級)		m3		5S1187
S1188	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	機械積込ダンプトラック運搬(10t積級)		m3		5S1188
A3025	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	掘削(軟岩)		m3		4Y4401000005
S1055	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	ブルドーザ掘削押土		m3		5S1055
S1060	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	バックホウ掘削積込		m3		5S1060
S1100	01河川改修	01築堤・護岸	01河川土工	リッパ掘削押土(標準作業)		m3		5S1100
						m3		5S1110
						m3		5S1117

※初期画面の工種は「河川改修」となっています。

検索順 → 「大区分」 → 「中区分」 → 「小区分」

昇順(S)
降順(Q)
色で並べ替え(I)
"大区分" からフィルターをクリア(C)
色フィルター(I)
テキストフィルター(E)

検索

- (すべて選択)
- 00共通
- 01河川改修
- 02河川維持・修繕
- 03海岸整備
- 04砂防・地すべり対策
- 05道路新設・改築
- 06共同溝・電線共同溝
- 07道路維持・修繕
- 08公園緑地整備・改修
- 09下水道施設整備
- 10仮設工

OK キャンセル

昇順(S)
降順(Q)
色で並べ替え(I)
"中区分" からフィルターをクリア(C)
色フィルター(I)
テキストフィルター(E)

検索

- (すべて選択)
- 01道路改良
- 02舗装
- 03鋼橋上部(工場製作工)
- 04鋼橋上部
- 05コンクリート橋上部(工場製作工)
- 06コンクリート橋上部
- 07橋梁下部(工場製作工)
- 08橋梁下部
- 09トンネル(NATM)
- 10トンネル(年板)

OK キャンセル

昇順(S)
降順(Q)
色で並べ替え(I)
"小区分" からフィルターをクリア(C)
色フィルター(I)
テキストフィルター(E)

検索

- (すべて選択)
- 01道路土工
- 02地盤改良工
- 03法面工
- 04軽量盛土工
- 05擁壁工
- 06石・ブロック積(張)工
- 07カバート工
- 08排水構造物工
- 09落石害防止工
- 10遮音壁工
- 11路盤工

OK キャンセル

【工種の検索方法】
 「大区分」のフィルターで設計対象の工種名称を選択。
 選択した大区分の配下の工種が表示されるので、続いて「中区分」で工種を選択。
 選択した中区分の配下の工種が表示されるので、続いて「小区分」で工種を選択することで必要とする工種を検索可能です。
 また、標準の施工歩掛や資材単価のコードも掲載しているので、活用願います。